

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/01/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 需給引き締め警戒で堅調地合に

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル前半で底固く推移した。需要環境に対する信頼感の高まりを背景に、安値修正の展開が維持された。中国経済の正常化期待に加えて、石油輸出国機構（OPEC）と国際エネルギー機関（IEA）が強気の需要見通しを示したことで、今後の需給ひっ迫化への警戒感を織り込む動きが優勢になった。昨年12月5日以来の高値を更新している。

IEAは1月18日に発表した月報で、2023年の世界石油需要が前年比で日量190万バレル増の1億0,170万バレルになるとの見通しを示した。これは過去最高の需要水準になる。中国でゼロコロナ政策が終了し、特にジェット燃料需要の拡大見通しが強くなっている。23年初めの段階では国際需給バランスが均衡状態にあると報告されているが、今後は急速に需給が引き締まる可能性も指摘されている。特にロシア産の供給に混乱が生じるリスクに強い警戒感が示されている。OPECも1月17日に発表した月報で、中国の需要見通し改善を報告しており、需給の引き締めに対する警戒感を高めた。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（1月13日時点）は、原油が前週比841万バレル増、ガソリンが348万バレル増、石油精製品が194万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給引き締め見通しを織り込む、春節でジェット燃料需要拡大

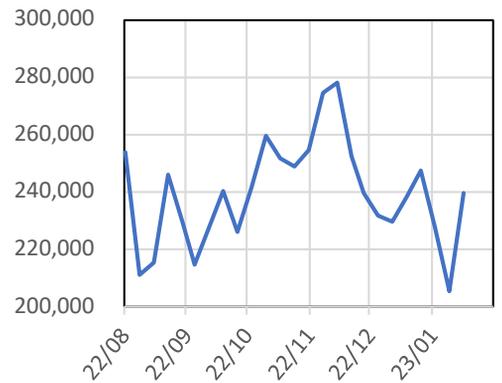
需要環境に対する信頼感が取り戻される中、底固い展開が続き易い。中国経済の正常化が急ピッチに進んでおり、新興国の需要拡大圧力が、国際原油需給を引き締めるリスクが高まっている。足元では著しい供給不足が発生している訳ではないが、今後は石油輸出国機構（OPEC）プラスの産油量が抑制される一方、ロシア産の供給に混乱が生じるリスクも高く、需給緩和から需給引き締めりに転換するプロセス上にあると評価されている。

中国の春節では、飛行機や自動車を使った移動が活発化する見通しであり、輸送用エネルギー需要の拡大期待が強い。人流の活発化で新型コロナウイルスの感染被害が拡大するリスクに注意が必要だが、いずれにしても中国政府が改めてロックダウン（都市封鎖）などの強力な行動規制に踏み切る可能性は低く、需要環境の改善傾向は維持される見通しが原油相場を支援しよう。

世界経済の減速懸念は根強いいため、突発的なリスクオフ圧力が発生すると、原油市場でも利食い売りが膨らむ可能性はある。ただ、マーケットの関心は新興国主導の需要拡大になっており、中国やインド経済に対する信頼感が大きく損なわれなければ、押し目買い対応に優位性がある。

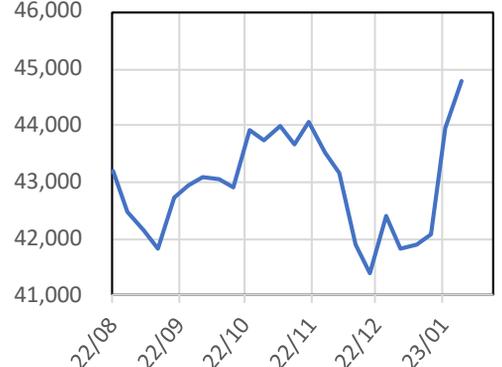
米ベーカー・ヒューズ社が発表した1月20日時点の米石油リグ稼働数は、前週比10基減の613基となった。二けたの減少は2021年9月3日の週以来になる。昨年末との比較でも8基減少となっている。米シェール企業の増産意欲の乏しさが再確認できる状況はポジティブ。シェールオイルは増産加速よりも鈍化のリスクの方が強く警戒される状況が続いている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

